

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会		主 査 名：後藤 治 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：山崎 鯛介 主 査 名：
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>歴史的建造物や歴史的町並に関する災害対策（事前・事後）や、災害が歴史的建造物・町並に及ぼす影響や被害について情報収集を行い共有化し、その研究を進め、今後の対応や対策に役立てることを目的とする。</p> <p>初年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／九州地方・中国地方の水害、首里城の火災他</p> <p>2 年度：近年の災害による歴史的建造物・町並の被害とその対応の調査・研究／海外における歴史的建造物・町並の災害による被害とその対策他</p> <p>3 年度：関係各機関の対応についての調査・研究／文化財防災センターの設置、国宝・重要文化財等の防火対策ガイドラインと関連する指針類</p> <p>4 年度：研究期間内に発生した被害とその対応の調査・研究</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：後藤治（工学院大学） 幹事：大橋竜太（東京家政学院大学）、 委員：鯉坂徹（鹿児島大学）、足立裕司（神戸大学）、上野勝久（東京藝術大学）、梅津章子（文化庁）、大窪健之（立命館大学）、永井康雄（山形大学）、村上裕道（兵庫県教育委員会）、防火：長谷見雄二（早稲田大学）、安井昇（桜設計集団）、耐震：花里利一（三重大学）、藤田香織（東京大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	<p>本年度は、委員会独自の活動は行わず、特別研究委員会として設置された「文化財建造物防災体制検討特別研究委員会」と共同して、公開研究会を開催することにした。公開研究会は、2022 年 10 月 2 日「文化財建造物の被災調査と復旧の課題 —防災体制確立のために—」、11 月 3 日「さまざまな自然災害から文化財建造物を守るために —これからの文化財防災を考える」の 2 回開催された。両研究会ともに、主査の後藤が講演者として参加した。</p>
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>特別研究委員会への貢献はできたが、本小委員会の活動ができていないので、次年度に向けて、開催できるようにしたい。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>委員会のために、研究費を獲得しているが、コロナ禍により、それによる調査が実施できていない。次年度には、調査を実施したい。</p>